

日本海洋学会教育問題研究会
2011 年度活動報告および 2012 年度活動計画(案)

2012 年 3 月 27 日 市川洋

2011 年度活動報告

1. 第 7 回「海のサイエンスカフェ」

日 時： 3 月 27 日（日）11 時から 13 時まで

場 所： ルノアール品川港南口店 港区港南 2-3-29 シンゲンビル 1F

話 題： 「東北関東大震災にかかわる海洋の科学を考える」

情報提供：市川洋、上野洋路、蓮沼啓一 進 行： 市川洋

主 催： 日本海洋学会教育問題研究会

参加者： 一般 17 名、学会員 10 名（内、研究会会員 8 名）

2. 「第四紀研究」第 50 巻の割引販売

別冊「学校教育で地学は生き残れるか？：学会と教育現場との連携に向けて」を
学会員へ割引販売（20 部：4 月 26 日即日完売）。

3. 大学施設を利用した海洋教育の実践

日 時： 7 月 4 日（月）13：00～15：00、7 月 5 日（火）13：00～15：00

場 所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

主 催：真鶴町、協 力：横浜国立大学、教育問題研究会

指導者：渡部 孟（真鶴町立海の学校校長）

支援者：菊池研究室大学院学生 3 名、真鶴町立「海の学校」職員 2 名

受講者：真鶴町立真鶴小学校 6 年（5 日：1 組、6 日：2 組）、教員 2 名

教育問題研究会参加者：乙部、菊池

4. 神奈川県下の小中高等学校教員を対象とした集中講座

日時： 2011 年 7 月 25 日

場所：座間市教育委員会・座間教育研究所

題目：地球環境を考える

講師：乙部(教育問題研究会員)

5. 第 8 回「海のサイエンスカフェ」

日 時： 10 月 1 日（土）11 時から 13 時まで

場 所： タオ カフェ 福岡市中央区清川 1-8-8-3F

話 題： 海月（クラゲ）の海から一上を向いて泳ごう

話題提供： 藤井直紀（佐賀大学）

進 行： 市川洋

主 催： 日本海洋学会教育問題研究会

共 催： 「地球環境アジアワークショップ」サイエンスカフェ事務局

協 力： 九州大学大学院工学研究院環境都市部門環境流体力学研究室

後 援： 佐賀大学低平地沿岸海域研究センター

担 当： 清野聡子、参加者： 一般 20 名、教育問題研究会会員 6 名

6. 大学 1 年生向け教科書の刊行（岸）

題名：海はめぐる一人と生命を支える海の科学ー

著者：日本海洋学会編 出版社：地人書館 ISBN978-4-8052-0834-2

価格：3200 円＋税 4 月 1 日発行

7. 参考

- 1) 教育問題研究会から震災対応 WG（情報発信担当）に参加：伊藤進一、豊川雅哉、市川洋
- 2) 響田邦夫：海洋リテラシーの育成と日本海洋学会教育問題研究会の活動，「第四紀研究」第 50 巻別冊，p.S157－S166.
- 3) 市川 洋：海のサイエンスカフェ～海洋科学研究者と市民との双方向の交流～，Ship & Ocean Newsletter. No.259. 海洋政策研究財団
- 4) 内閣官房総合海洋政策本部事務局：「海洋教育の現状に関する調査」報告書（協力：市川）
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kaiyou/chousa/kaiyoukyouiku.html>
- 5) 地学オリンピック（担当：市川）
6 月 20 日に第 6 回国際地学オリンピックの日本開催辞退が決まる。
- 6) サイエンスアゴラ 2011 参加企画
シンポジウム「東日本大震災後の海洋汚染の広がりとその影響」
11 月 19 日(土)15 時 30 分－17 時 20 分、日本科学未来館 7 階 みらい CAN ホール
主催：日本海洋学会震災対応WG
参加者：122 名、教育問題研究会員登壇者（難波美帆、市川洋）
- 7) Ichikawa, H.: Ocean Science Communication in Japan. AGU 2011 Fall Meeting, PA33C-04(Invited). Dec. 7, 2011.
- 8) 海洋学会創立 70 周年記念誌に本研究会の 2003 年設立以降の活動の概要を寄稿（市川）
- 9) ウェブサイトの更新・改訂（藤井）

2012 年度活動計画

1. 第 9 回「海のサイエンスカフェ」
日 時： 3 月 31 日（土）11 時から 13 時まで
場 所： ヴァージンカフェ品川（東京都港区港南 1 丁目 9 番 32 号 アレア品川別館 207）
話 題： 海流のなぞにせまるー人工衛星からみる海流ー
話題提供：小橋史明（東京海洋大）
進 行： 上野洋路（北海道大学）
主 催： 日本海洋学会教育問題研究会
担 当： 須賀、市川
2. 高等学校学習指導要領の平成 25 年度実施開始への対応および今後の改訂に向けての活動方針策定
3. ニュースレターに、海洋のエッセイを連載予定（責任者：岸）
4. 雑誌「日本の科学者」2012 年 7 月号、特集「海洋教育」に寄稿準備中（響田邦夫、市川洋）
5. 大学施設を利用した海洋教育の実践
日 時： 7 月初旬の 2 日間
場 所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）
主 催：真鶴町，協 力：横浜国立大学、教育問題研究会

指導者：渡部 孟（真鶴町立海の学校校長）

支援者：菊池研究室大学院学生 3 名、真鶴町立「海の学校」職員 2 名

受講者：真鶴町立真鶴小学校 6 年（第 1 日：1 組、第 2 日：2 組）、教員 2 名

教育問題研究会参加者：菊池、乙部

6. 神奈川県下の小中高等学校教員を対象とした集中講座

日時：2012 年 7 月下旬（予定）

場所：座間市教育委員会・座間教育研究所

題目：海洋環境と海の生命（仮題）

講師：菊池（教育問題研究会員）

7. 第 10 回「海のサイエンスカフェ」

日 時： 2012 年度秋季大会開催期間（9 月 13-17 日）中の 9 月 17 日（祝）

場 所： 静岡市内

話 題： 未定 話題提供：未定

進 行： 未定 担当：未定（轡田？）

主 催、共催または/協力：日本海洋学会教育問題研究会、（東海大学、静岡大学）

8. 中華民国と日本の小学校における海洋知識の調査

国立海洋大学（台湾、基隆）からの共同研究申し入れへの対応（担当：岩崎・福島）

9. その他

1) 検討中

- 集会「日本の海洋学における人材育成とポストク問題について」

主催：日本海洋学会教育問題研究会，担当：伊藤進一

- サイエンスアゴラ 2012 出展

2012 年 11 月 10 日（土）、11 日（日）、東京お台場地区

主催/共催/協力： 日本海洋学会教育問題研究会／震災対応WG（未定） 担当：市川

内容：未定（例：パネル展示、サイエンスカフェ、非専門家との対話シンポジウム）

- 市民との海洋研究交流・出前授業支援（川合）

- メディアとの対話（市川、難波）

2) 前年度からの継続事項

- 「メディアとの対応」促進活動

質疑応答ウェブ立ち上げ（担当：藤井、市川、川合）

- 日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会から働きかけのあった連携について（担当：福島）

海洋教育推進委員会の内部の体制が十分に整っていないため、”連携の打診”から先のアクションに進めない状況（2012 年 1 月 12 日 日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会幹事 北澤大輔氏）。

- 海洋総合検定事業（担当：市川）

日本財団の助成金事業に申請したが不採択となった。現在は中断（中止ではない）の状態（2012 年 1 月 12 日 日本海洋工学会事務局 猪口茂樹氏）。

会員数 2012 年 3 月 27 現在 登録会員数 39 名